

講義科目 :国際経済論	単位数 :2
担当 :石原 洋介	学習形態 :選択科目

講義の内容・方法および到達目標

- 現代グローバリゼーションの特徴と課題を探るため、ブレトンウッズ体制の成立と崩壊過程を紹介し、日本と東アジアにおいてグローバル化が与えてきた経済、金融、政治への影響を解説する。学生には、国際社会の一員またはアジアの一員としての視野を身につけ、今後直面するであろう国際的課題について認識を深めてもらうことを目標とする。もとより、国際的課題に単純な解決法はなく、柔軟な発想と粘り強い行動が必要である。学生諸君には、そうした点もふまえながら、よりよい国際経済のあり方について考える契機となることを期待する。

授業計画

- | | |
|------|--------------------------------|
| 第1回 | ガイダンス（評価方法、レポート課題等） |
| 第2回 | 自由貿易理論と保護貿易理論、比較生産費説と幼稚産業保護政策 |
| 第3回 | 戦後ブレトンウッズ体制①——IMF（国際通貨基金）—— |
| 第4回 | 戦後ブレトンウッズ体制②——世界銀行—— |
| 第5回 | 戦後ブレトンウッズ体制③——GATTからWTOへ—— |
| 第6回 | 新自由主義理論の台頭 |
| 第7回 | アジア通貨危機① 危機発生の諸要因 |
| 第8回 | アジア通貨危機② 危機発生の諸要因（つづき）と危機の拡大過程 |
| 第9回 | アジア通貨危機③ 通貨危機への対応の2つの道 |
| 第10回 | アジア通貨危機④ 通貨危機再発防止への取組 |
| 第11回 | グローバリズムとリージョナリズム① FTA急増の背景 |
| 第12回 | グローバリズムとリージョナリズム② 日本のFTA戦略 |
| 第13回 | グローバリズムとリージョナリズム③ TPPを考える |
| 第14回 | グローバリズムとリージョナリズム④ TPPと食の安全 |
| 第15回 | 新たなグローバリズムの可能性 |

教材・テキスト・参考文献等

特定のテキストは使用せず、毎回配布するレジュメをもとに講義を進める。

成績評価方法

レポート提出による評価が70%、平常点（出席、授業態度）が30%。

定期試験は実施しない。

レポート課題は最初の講義（ガイダンス）で発表する。

その他

新聞を毎日読むこと。